

甲子園目指す 29校
 2022全国高校野球徳島大会

動画
 あります
 スマホは
 こちらから

④



生光学園

前回大会は決勝でサヨナラ負けを喫し、初の甲子園出場はかなわなかった。出場したエース奥濱と3番安藝を中心に堅い守りから攻撃につなげる野球を磨いてきた。投打で力がある選手がそろい、雪辱を期すチームの士気も高い。

右腕奥濱は140センチ前後の直球やスライダー、フォークなどを操り、三振が取れる。平野は制球良く打たせて取る。3年2人が対戦校に合わせて先発する構え。長身の1年大山も制球が良く、試合をつくれる。

打線はミート力のある1番伊佐治と2番渡邊が出塁し、中軸が返すのが理想。3番安藝は本塁打を狙え、4番岸本、5番富田は勝負強い。今西、柘谷、山城ら下位も粘り強く出塁を狙う。

守備の要は山城と渡邊の二遊間。声を切らさず引っ張る。外野は長打を警戒する深めのシフトを

投打ともに戦力充実

【創部】1980年 【選手】78人

守備練習に取り組む生光学園の選手



敷く。強肩、俊足などのポジションもこなす控えの外野手野村は、守備固めで起用されそうだ。

【県大会の成績】
 ▽秋季大会
 2回戦 0-5城南
 ▽春季大会

1回戦 4-3川島
 2回戦 8-1徳島科技
 準々決勝3-4城南

【過去5年の夏の戦績】
 17年IIベスト4、18年II準優勝、19年II2回戦、20年IIベスト4、21年II準優勝